

9月7日~11日 全国和牛能力共進会

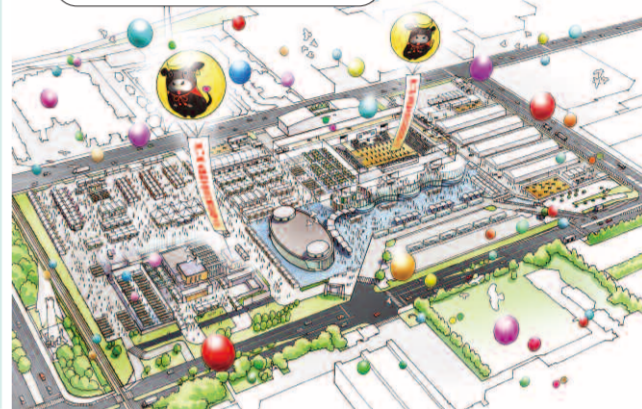
「第11回全国和牛能力共進会宮城大会(全共宮城大会)」に出品する県代表牛が決定した。雄牛・雌牛の体型の良さなど改良成果を月齢別に審査する「種牛の部」に20頭。枝肉の状態が脂肪の入り具合などの肉質を審査する「肉牛の部」に8頭が出品される。全出品区で上位入賞を目指すほか、両方の部で一つずつ首席を獲得しようとして、これまでも「オール宮城」で取り組んできた。代表牛が決まった今、さらに士気を高めて大会に臨む。

代表牛そろい踏み ブランド「仙台牛」を県内外に発信

全共は、全国から優れた和牛の市場価値を全国的に高めることを、賞に集め、改良の成果やその優秀性を競う全国大会、5年に一度開かれる。「和牛のオリピック」とも呼ばれ、好成績を収めることとほ和牛ブランドの士気を高めて大会に臨む。

全共は、全国から優れた和牛の市場価値を全国的に高めることを、賞に集め、改良の成果やその優秀性を競う全国大会、5年に一度開かれる。「和牛のオリピック」とも呼ばれ、好成績を収めることとほ和牛ブランドの士気を高めて大会に臨む。

メイン会場イメージ図



2017(平成29)年9月7日(月)~11日(金の5日間)
会場 種牛の部：夢メッセみやぎ(仙台市)
肉牛の部：仙台市中央卸売市場食肉市場(仙台市)

日本一獲得へ出陣

第7区総合評価群(種牛群4頭)

日本一で地元開催に花を

種牛の部
今大会は、生産効率の向上を目指す繁殖能力、産肉能力の改良に取り組み、現場に生かしていくことを強く推し進めている。出品条件に繁殖能力や産肉能力の育種速度や改良成果を確認する出品区も設定されている。九つの区分から、第1区(若雄)と第7区(総合評価群)を取り上げるとともに、復興特別出品区として設けられた高校の部を紹介する。

丸森町・菅原 公孝さん、角田市・加藤 幸一さん、白石市・小室 富義さん、白石市・境野 和博さん

全共宮城大会代表牛第2回総合指導会がききょう、みやぎ総合畜産市場で開かれ、種牛の部県代表牛20頭が集まった。第7区総合評価群(種牛群4頭)に選ばれた丸森町・菅原公孝さん(65)、角田市・加藤幸一さん(67)、白石市・小室富義さん(68)と境野和博さん(50)は、「選ばれた以上最良の対策を、日本一を目指したい」と気持ちを一つにする。

第7区は、種牛能力と産肉能力を総合評価する出品区で、同一の原基幹種雄牛の産子を、種牛群(4頭)と肉牛群(3頭)合わせて1群として評価する。出品牛の父牛に年齢の制限が設けられるうえ、種牛群は月齢17カ月~24カ月未満で、産肉能力に「育種価資格本原」という条件が付く。

2015(平成27)年に「好平茂」と「勝洋」で指定交配を実施したが、選抜された4頭は「好平茂」の産子。4頭とも発育良好で、なやかな体格だが、審査対象部位を測定すると各部

位とも栄養価が高いという。境野さんは「わりと昨年の夏草を給餌して調整している」と話し、小室さんは「部位によって充実させるところと絞り込むところがあり難しいが、最大限に努力したい」と話す。

追い運動やつき運動、牛体の手入れ、調教を毎日数時間かけて行うほか、飼養管理、環境整備に余念がなく、加藤さんは「第7区は総合評価なので団結力が必要になる。ホーム開催という勢いも生かし、強い気持ちで臨みたい」と話す。

選抜後は、出品に向けた指導・補助を同じ担当者にもしてもらい、4頭の育性を高めるように対応。菅原さんは「牛つくりは人づくり。同じ行動をし、気持ちをもつて向かっていきたい」と話す。

第1区(若雄)
宮城県畜産試験場
選抜された「勝美桜1号」号は、県の改良方針に基づいて計画的に造成された種雄牛候補で、今後基幹種雄牛になるべく、今春畜産試験場で現場後代検定に臨む。父牛は勝洋、母の父は勝忠平、母の祖父は安平になる。



勝美桜1号

集合指導会で4頭が整列。右からゆり号、あさこ号、なつひら号、はな号。綱を持つのは右から菅原さん、佐久間忠さん、古山豊さん、境野さん



ゆり号と平間さん

地道な積み重ねを形にしたい

柴田農林高等学校動物科学科畜産専攻班3年・平間 大貴さん

復興特別出品区「高校の部」
「教わったことを地道にこなして好成绩を残したい」と話す、県柴田農林高等学校動物科学科畜産専攻班3年の平間大貴さん(18)。

全共宮城大会の付帯行事として復興特別出品区「高校の部」が設置され、県代表高校に柴田農高が選ばれた。「被災地の頑張っている姿、県南地域の和牛を印象付けられるよう、やれること全てに取り組みしていきたい」と話す。

復興特別出品区は、東日本大震災からの復興や未来に向け、将来を担う全国の農業高校生が切磋琢磨するともに交流を深めていくことを目指している。

出品牛の条件は、自校で生産・飼育されている育成牛(月齢14カ月~20カ月未満)で、父牛は道庁の改良方針に基づいた種雄牛となっている。

代表牛「ゆり」号は、父牛が県基幹種雄牛「勝洋」で、母牛は同校で飼養する「ゆめ」号。昨年6月に生まれ、畜産専攻班の平間さん、阿部瑞希さん、佐藤泰斗さんを中心に世話をしてきた。

ホームルーム前につきぎ運動、牛体の水洗いとシャンプーを行い、授業終了後にマッサージとブラッシングで牛体を手入れし、ハンンドラーを務める平間さんが追い運動を実施している。

「出品に向けて巡回する指導員から教わったことを守り取り組んでいる」と平間さん。毛並みや色つや、体のバランスまで小まめに観察するほか、毛が日に焼けないよう遮光したり、丸太を挟ませて立ち姿勢を矯正し、万全の態勢で臨む。

平間さんは「和牛という県北が優秀なイメージが強い。全共を通して県南の和牛の存在を強く示していきたい」と話す。

区分	出品条件		名号	生年月日	父牛	母の父	母の祖父	所有者	
	生後月齢【生年月日】	出品単位						住所	氏名
第1区(若雄)	15~23カ月未満 【平27.10.8~平28.6.7】	単品(1頭)	勝美桜1号	平28.2.14	勝 洋	勝 忠 平	安 平	大崎市	宮城県畜産試験場
第2区(若雌の1)	14~17カ月未満 【平28.4.8~平28.7.7】	単品(2頭)	さいぜんれつ号 ゆりよし号	平28.4.27 平28.4.12	好 平 茂 好 平 茂	百 合 茂 百 合 茂	安 糸 福 平 茂 勝	登米市	小野寺 正人 菅原 一研
第3区(若雌の2)	17~20カ月未満 【平28.1.8~平28.4.7】	単品(2頭)	さくら76号 は る 号	平28.3.6 平28.3.31	好 平 茂 好 平 茂	安 平 照 勝 忠 平	平 茂 勝	栗原市	熊谷 良太 菅原 英和
第4区(系統雌牛群)	14カ月以上 【平28.7.7以前】	群(4頭)	かなえ号 あさこ号 かつみ号 みか号	平28.2.26 平28.2.25 平28.1.28 平28.1.18	平 勝 美 平 勝 美 平 勝 美 平 勝 美	奥 北 茂 第2波茂 宮 福 茂 第2波茂	高 栄 安 金 第3神竜の4 奥 茂	大崎市	山谷 恵一 佐藤 和也 大崎市 後上 孝行 大崎市 高橋 則夫
第5区(繁殖雌牛群)	3産以上の産歴	群(4頭)	ゆりしげ3号 おかしげ号 なえの2号 ゆいこ号	平25.1.23 平24.5.21 平24.3.20 平23.3.13	茂 洋 茂 洋 茂 洋 茂 洋	百 合 茂 百 合 茂 安 福 久 勝 忠 平	平 茂 勝 北 国 7 の 8 平 茂 勝 平 茂 勝	栗原市	兵 藤 浩 岡本 正宏 栗原市 千葉 たけ子 栗原市 田 中 豊
第6区(高等登録群)	14カ月以上 孫娘【平28.7.7以前】	母、娘、孫娘群(3頭)	おくひら号 しげひら号 よしひら号	平19.6.20 平23.3.1 平28.2.11	奥 北 茂 茂 洋 好 平 茂	平 茂 勝 奥 北 茂 茂 洋	金 幸 平 茂 勝 奥 北 茂	登米市	南.N.O.A 登米市 服部 泰啓 登米市 佐々木 昌典
第7区(総合評価群)	17~24カ月未満 【平27.9.8~平28.4.7】	種牛群(4頭)	なつひら号 は な 号 ゆり号 あさこ号	平28.3.19 平28.2.29 平28.1.19 平28.1.17	好 平 茂 好 平 茂 好 平 茂 好 平 茂	百 合 茂 百 合 茂 百 合 茂 百 合 茂	平 茂 勝 金 幸 福 神 高 栄 第 6 栄	白石市 白石市 丸森町 角田市	小室 富義 境野 和博 菅原 公孝 加藤 幸一
復興特別出品区「高校の部」	14~20カ月未満 【平28.1.8~平28.7.7】	単品(1頭)	ゆり号	平28.6.15	勝 洋	北 平 安	平 茂 勝	大河原町	柴田農林高等学校